令和4年度 埼玉県学力・学習状況調査 学習方略・非認知能力の結果一覧(学年別幸手市平均)

…標準を超えている(※)
 …標準及び県平均を超えている

※この調査は、児童生徒に対する質問紙によって行われる。5点法で行われる調査であり、標準点は3点である。

小4	R4結果									
	主体的・対話的で深い学びの実施	学習方略					非認知能力			
		柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	-	認知的方略	努力調整方略	自己効力感(参考値)	やりぬく力(参考値)	
幸手市平均	4.026	3.615	3.640	3.434	-	3.925	3.912	3.565	3.067	-
埼玉県平均	4.028	3.503	3.549	3.432	-	3.826	3.960	3.489	3.096	-
差	-0.002	0.112	0.091	0.001	-	0.100	-0.047	0.076	-0.029	-

R4の項目合計 48項目
 R4の県平均超え項目 26項目
 → **54.2%**

小5	R4結果									
	主体的・対話的で深い学びの実施	学習方略					非認知能力			
		柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	-	認知的方略	努力調整方略	自己効力感(参考値)	向社会性	
幸手市平均	4.007	3.507	3.639	3.364	-	3.821	3.793	3.354	2.974	-
埼玉県平均	4.043	3.471	3.527	3.344	-	3.792	3.968	3.346	3.069	-
差	-0.035	0.037	0.112	0.020	-	0.029	-0.175	0.008	-0.095	-

小6	R4結果									
	主体的・対話的で深い学びの実施	学習方略					非認知能力			
		柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	-	認知的方略	努力調整方略	自己効力感(参考値)	動機性(参考値)	
幸手市平均	4.083	3.742	3.813	3.502	-	3.961	3.936	3.391	3.897	-
埼玉県平均	4.025	3.521	3.600	3.343	-	3.839	3.949	3.341	3.775	-
差	0.058	0.221	0.213	0.158	-	0.122	-0.012	0.051	0.121	-

中1	R4結果									
	主体的・対話的で深い学びの実施	学習方略					非認知能力			
		柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	-	認知的方略	努力調整方略	自己効力感(参考値)	自制心(参考値)	
幸手市平均	4.101	3.609	3.572	3.573	-	3.918	3.949	3.238	3.799	-
埼玉県平均	4.061	3.588	3.680	3.633	-	3.836	4.002	3.150	3.810	-
差	0.040	0.021	-0.108	-0.060	-	0.082	-0.053	0.087	-0.011	-

中2	R4結果									
	主体的・対話的で深い学びの実施	学習方略					非認知能力			
		柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	-	認知的方略	努力調整方略	自己効力感(参考値)	向社会性	
幸手市平均	3.859	3.434	3.434	3.392	-	3.631	3.557	2.917	3.194	-
埼玉県平均	3.888	3.475	3.494	3.509	-	3.656	3.708	2.907	3.232	-
差	-0.029	-0.041	-0.060	-0.117	-	-0.025	-0.151	0.009	-0.039	-

中3	R4結果									
	主体的・対話的で深い学びの実施	学習方略					非認知能力			
		柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	-	認知的方略	努力調整方略	自己効力感(参考値)	やりぬく力(参考値)	
幸手市平均	3.729	3.621	3.626	3.550	-	3.826	3.680	2.943	3.063	-
埼玉県平均	3.792	3.591	3.532	3.587	-	3.771	3.683	2.992	3.026	-
差	-0.063	0.030	0.094	-0.037	-	0.055	-0.003	-0.049	0.037	-

学習方略・非認知能力(学年別幸手市平均)の考察

- ① 県平均を超えている項目(色付きセル)が48項目中26項目(54.2%)と、良好な結果であった。「主体的に学習に取り組む態度」と密接な関係のある「**学習方略・非認知能力**」の育成が図れていると考えられる。
- ② 県平均以下の項目を見てみても、「-0.002」など県との差はわずかである。
- ③ 今後、**苦手などの感情をコントロール**して学習に取り組ませることや、**自ら課題に取り組んだり、対話をとおして解決**したりする学習活動の充実を図っていく。

- ・柔軟的方略
学習の仕方を自分の状況に合わせて柔軟に変更していく活動
  - ・プランニング方略
計画的に学習に取り組む活動
  - ・作業方略
ノートに書く、声に出すといった「作業」を中心に学習を進める活動
  - ・認知的方略
より自分の理解度を深めるような学習活動
  - ・努力調整方略
「苦手」などの感情をコントロールして学習への動機を高める活動
- ※向社会性
 令和3年度までは、「人的リソース方略(友人を利用して学習を進める活動)」として、学習方略の項目にあったものが、令和4年度から「非認知能力」に移行した。